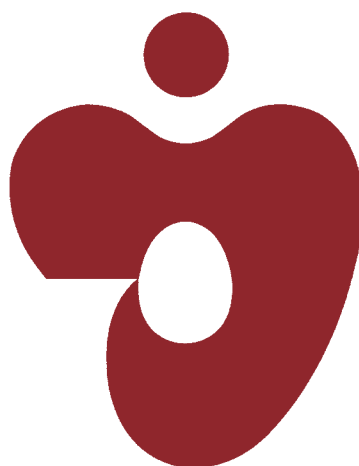


九州看護福祉大学紀要

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare

Vol. 20 No. 1

令和元年度



九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

目 次

1. 原著論文

看護系大学教員の実習指導における生命倫理教育 ―実習指導経験からの内容分析― 柴田 恵子・川本起久子	3
戦後日本における障害者福祉・職業リハビリテーション法政策小史 金 蘭九	13
植民地朝鮮における職業紹介事業の成立と展開 金 蘭九	23
歯科衛生士の健康敏感度、健康不安および健康診断受診に関連する要因 柴原 聖子・徳永 淳也	35

2. 総説

鍼灸刺激による免疫調節 ～現状と課題～ 塚本 紀之・花田 雄二	45
--	----

3. 研究報告

統合実習が看護学生の基本的コミュニケーション・スキルに及ぼす影響 ―ENDCOREsを用いたスキル・タイプの検討― 島村 美香・藤本 学・幸 史子・小山記代子	53
---	----

4. その他

助産師と養護教諭による事前連携が及ぼす「いのちの出前授業」への導入効果 森口 範子	65
農業従事者の高齢化と就労意欲について 二塚 信・米満 弘之・安藤 学	75

九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科 修士論文一覧	80
『九州看護福祉大学紀要』投稿内規および執筆要領	81
編集後記	83

編集後記

九州看護福祉大学紀要第20巻の発刊にあたり、編集にご協力いただきました委員をはじめ関係各位にまずは心からお礼申し上げます。

さて、昨年は平成という1つの時代が終わり、新元号の「令和」時代が始まりました。1990年度に全国で507校だった大学は、令和を迎えた2019年度には786校まで増加しました。一方で、わが国においては少子化が加速化し、2017年に120万人だった18歳人口は2040年には88万人まで減少すると予測されており、令和の時代は「大学余剰時代の入り口」でもあると言えます。国も国立大学法人の統合を可能にし、私立大間の学部譲渡を容易にするなど大学再編を後押しする状況の中で、地方私立大学は、生き残りをかけ、事業多角化や相互連携など社会のニーズに応じて変化していくことが求められています。自身の大学は何が強みで何が弱みなのか、クローズド・ループの中にいるとクローズド・ループの問題点は見えてきません。オープン・ループの視点で自身の大学を俯瞰的に見るということが求められていると言えます。

次年度から本学紀要は、本学機関リポジトリでの電子媒体での発刊となります。常に新しい情報を発信し続ける力強い大学であるために、今後も教育、研究活動に邁進し時代と共に変化していく必要性を強く感じております。

令和2年2月10日

紀要編集委員長 加藤 浩

令和元年度紀要編集委員会

委員長	加藤 浩 (リハビリテーション学科)
委員	牛之濱久代 (看護学科)
委員	上妻 尚子 (看護学科)
委員	竹中 健 (社会福祉学科)
委員	李 玄玉 (社会福祉学科)
委員	川俣 幹雄 (リハビリテーション学科)
委員	内田 匠治 (鍼灸スポーツ学科)
委員	淀川 尚子 (口腔保健学科)

九州看護福祉大学紀要 第20巻 第1号

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare Vol.20 No. 1

2020年3月

発行者 九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

〒865-0062

熊本県玉名市富尾888番地

888 Tominoo, Tamana-shi,

Kumamoto 865-0062, Japan.

TEL 0968(75)1800

FAX 0968(75)1811

紀要編集委員長 加藤 浩

印刷所 シモダ印刷株式会社 熊本支店

〒862-0951

熊本市中央区上水前寺2丁目16-16

TEL 096(383)5512

FAX 096(386)5454
